

# 理科

## 令和8年度 授業改善のポイント

- 1 問題を見だし、予想や仮説を立てる活動を充実させることで、見通しをもって問題解決（探究）の過程に取り組むことができるようにする。
- 2 実験の結果を基に考察する活動を充実させることで、問題を科学的に解決することができるようにする。

### 予想や仮説を生かした問題解決（探究）の過程の充実

#### 【指導事例】「植物のからだのはたらき」（小学校第6学年）

過程	※本事例中の [ ] 内は、教師の働き掛け（例）
自然の事物・現象に対する気付き	<p><b>ポイント1</b> 児童生徒の気付きや疑問を基に学習問題を設定することで、より主体的に予想や仮説を立てることができるようにします。</p> <p><b>重要</b> 「比較」から気付きや疑問を引き出せるよう、事象や発問を準備します。</p> <p>これ、元気がないです。水をあげてみましょうか。</p> <p>…（時間経過）…元気になりましたね。根元に水をあげたのに茎や葉が元気になりました。一体どういうことなのでしょう。</p> <p>水が根から入って、茎を通り、葉にも届いたのだと思います。</p> <p>根、茎、葉の中に、水を運ぶ仕組みがあるということですか。</p> <p>根、茎、葉の中に、水を運ぶ管があると思います。</p> <p>運ぶ仕組みと言えば、ヒトには食べ物や血液を運ぶ管がありました。</p> <p>それでは、個人で問題をノートに書いてみましょう。…（時間経過）…皆さんの問題を基にして学習問題を設定しましょう。</p>
問題の設定	<p><b>学習問題</b> 根から取り入れた水は、植物のからだのどこを通過して、全体にいきわたるのだろうか？</p>
予想や仮説の設定	<p><b>ポイント1</b> 個で立てた予想や仮説の妥当性や *実証性について考える活動を充実させることで、問題解決（探究）を見通すことにつながるようにします。</p> <p>*考えられた仮説が観察、実験などによって検討することができるという条件</p> <p>個の予想</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・根や茎を通ると思うけど、中に本当に管があるかは分からない。</li> <li>・ヒトも植物も同じ生き物の仲間だから同じような管があると思う。</li> <li>・からだの中にスポンジみたいな穴があって、そこを通過していると思う。</li> </ul>
検証計画	<p>必要に応じて①～④のような働き掛けを行うことで、見通しが確かなものになるようにします。</p> <p>① どうして～と予想したのですか。</p> <p>② 班（全体）で意見交換してみましょう。</p> <p>③ どのようにして予想を確かめますか。</p> <p>既習の内容や生活経験を基に、<b>根拠のある予想</b>を立てることを大切にさせます。</p> <p>考えを広げたり深めたりすることで、より<b>自分事の予想</b>になるようにします。</p> <p>観察、実験の方法を考えさせることで、<b>主体的な問題解決の活動</b>につながります。</p>
結果の処理	<p><b>ポイント2</b> 結果を全体で共有する、予想と比較した上で考察するなどの活動を通して問題をより科学的に解決できるようにします。</p>
考察、結論の出	<p>結果は、自分の予想と比べてどうでしたか。</p> <p>全体（班）で、結果を比べてみましょう。</p> <p>予想や仮説と結果を関係付けて考える学習活動を設定し、より<b>妥当な考え</b>をつくりだす問題解決の力の育成を図ります。</p> <p><b>重要</b> 結果を共有することで、共通点や差異点等の視点から傾向・特徴等を捉えて個の考察につなげたり、<b>再現性</b>について確かめたりします。</p>